

第55回栗東市人権教育研究大会 分科会一覧

※今回大会は、分科会会場が、市内3小学校と分散しております。参加される分科会の会場をご確認のうえ、直接各会場へお越しください。なお、必ず、上履きと下靴入れをご持参くださいますようお願いいたします。

| No. | 会場     | 研究課題    | テーマ   | 所属・報告者(敬称略)  | 司会(敬称略)                | 討議協力者(敬称略)        | 記録者(敬称略)                | 分科会の主な内容       |   |
|-----|--------|---------|-------|--|------------------------|-------------------|-------------------------|----------------|---|
| 1   | 葉山東小学校 | 6年3組 教室 | (4)-③ | 1人1人のありのままを大切に                                       | 治田東こども園 馬場 彩実          | 大宝西保育園 高木 彰子      | 治田西こども園 小林 美恵           | 治田東こども園 中村 由美  | 子ども達との関わりを通して、ありのままの存在を受け止め、安心できる環境をつくるのが、何よりも大切だと改めて学んだことを報告します。   |
| 2   |        | 6年2組 教室 | (4)-② | “ここにいい”と思える教室を目指して<br>～心がつながる学級づくり～                  | 葉山小学校 西村 知美            | 学校教育課 森 耕平        | 葉山東小学校 山口 敏生            | 葉山小学校 三谷 淳     | A児との関わりの中で、悩みながら取り組んだ実践の記録です。子どもたち一人ひとりが「ここにいい」と感じ、安心して自分らしさを発揮できる学級を目指して取り組みました。   |
| 3   |        | 6年1組 教室 | (4)-③ | 「個を理解し、集団につなぐ学級経営」<br>～全員で成長することを目指した一年間～            | 葉山東小学校 原 周平            | 大宝東小学校 海下 えり子     | 大宝西小学校 橋本 三左            | 葉山東小学校 本郷 美緒   | 「全員で成長する」を目標に掲げ、個の軸と集団の軸の二軸を意識した学級経営を実践しました。一人ひとりの背景や課題に応じた支援を通して、人権教育の在り方を考えます。  |
| 4   |        | 3年4組 教室 | (4)-② | 一人ひとりが安心して力を発揮できる教室をめざして<br>～園と小学校のつながりの中で見えてきたこと～   | 治田東小学校 中野 法子           | 滋人教栗東研究会 森 紀人     | 金勝小学校 中川 章子             | 治田東小学校 橋本 未紗   | 加配教員として保育や授業に関わる中で、就学前から小学校への滑らかな接続をめざし、授業改善に取り組んでいます。その過程で見えてきたことを手がかりに、自身をふり返りながら、子どもたちが安心して力を発揮できるように大切なことを考えていきたいと思っています。                 |
| 5   |        | 3年3組 教室 | (4)-③ | 私の「正しさ」が隠していたもの<br>～Aさんの姿が教えてくれた、私の「正しさ」の正体～         | 葉山中学校 中川 梓             | 栗東中学校 太田 洋司       | 栗東西中学校 松浦 透             | 葉山中学校 杉本 絵衣    | リーダー性のある生徒に対して、「この子はクラスをまとめてくれる子」「何でもできる、頼れる子」という自分の理想を押しつけてしまっている「私」がいました。その生徒との関わりを通しての、自身の変容についてご報告します。                                    |
| 6   |        | 3年2組 教室 | (4)-① | インクルーシブ教育の現状と課題<br>～栗東高校での人権学習と担任としてできる事～            | 栗東高等学校 村西 慶久           | 聾話学校 仲田 愛美        | 国際情報高等学校 江竜 康成          | 栗東高等学校 宮原 葉子   | 昨年度まで人権教育課として取り組んだ内容と、その中で学んだことや、日本の高校教育の課題にふれます。また、15年ぶりに担任として充実した毎日を送る中、自分で感じている事を伝えたいと思います。  |
| 7   | 治田小学校  | 5年4組 教室 | (4)-③ | 「ねえ、気づいてよ」～私と人権～                                     | 治田幼稚園 井上 知佳            | 治田西こども園 吉見 智子     | 金勝第2保育園 稲富 千晶           | 治田幼稚園 岡田 愛加    | 自身の生き方や、目の前の子ども達と向き合うことを通して見えてきたこと・聞こえてきた声に気が付ける自分があります。しかし、傷つける人になりたくないと思いつつも、“人を大事にする”が抜け落ちている自分もいます。悩みながら自分や子どもと向き合う日々を、みなさんと一緒に考えたいと思います。 |
| 8   |        | 3年2組 教室 | (4)-③ | 一人ひとりの違いを認め合える学級づくり<br>～子どもとの関わりを通して学んだこと～           | 金勝小学校 西村 紗貴            | 大宝西小学校 勝部 由紀子     | 治田小学校 黒川 俊文             | 金勝小学校 松田 愛     | 行き渋り傾向のある子、学習に学びにくさのある子、友だちとの関わりに不安を抱える子など、多様な子どもたちとの関わりを通して、一人ひとりに寄り添う大切さや関わり方について学んだ実践を報告します。   |
| 9   |        | 音楽室     | (4)-① | 誰ひとり取り残さない学級づくり<br>～A児のためになるやさしさとは～                  | 治田小学校 黄瀬 優希            | 治田西小学校 川田 一郎      | 大宝東小学校 小林 久祥            | 治田小学校 西川 真彩    | A児(5年生)は、相手が傷つく言葉を言ったり、やりたくないことから背を向けたりすることがありました。A児を指導したり、A児が取り組みやすい方法を考えたりしても、反抗的な態度を見せることが多々ありました。A児と向き合い、取り組んだことをまとめます。                   |
| 10  |        | 5年1組 教室 | (4)-③ | わたしの居場所 わたしの仲間<br>～つながりから見つける自分らしさ～                  | 治田西小学校 西村 あゆみ          | 栗東西中学校 大西 知行      | 葉山小学校 坂東 靖記             | 治田西小学校 野寄 絵梨子  | 様々な園から入学してきた子どもたちは、大人との関わりを求め新たな友人関係を築こうとする姿があまり見られませんでした。新しい環境での新たな関係づくり居場所づくりのために取り組んだこととその中で見えた課題について報告します。                                |
| 11  |        | 家庭科室    | (4)-① | 「先生、ばく、漢字書けるようになりたいねん」<br>～Aさんが自分に自信を持つまでの日々～        | 栗東中学校 兼山 はるか           | 滋人教栗東研究会 森田 和之    | 葉山中学校 山本 克己             | 栗東中学校 原田 晃生    | 学習に非常に苦手意識のあった生徒が、通級の先生や保護者の方の支援、学級での経験を経て、自分に合った合理的配慮を見つけ、自分に自信を持つまでの日々を報告します。   |
| 12  |        | 3年1組 教室 | (3)   | 栗東市役所における人権研修の実践と課題                                  | 人事課 澤 宏生               | 栗東西中学校 北川 保之      | 少年センター 岸田 修             | 人事課 北川 大貴      | 栗東市役所では正規職員、会計年度任用職員合わせて約1,000人の職員が働いており、全職員に対し人権研修を行っています。今回の報告会ではその人権研修の取り組みや課題について報告いたします。   |
| 13  | 大宝小学校  | 5年1組 教室 | (2)-① | つながり<br>～部落差別問題と出会うなかで気付いたこと～                        | 大宝西保育園 木村 祐奈           | 葉山東こども園 伊勢 純子     | 大宝西幼稚園 松本 桂子            | 大宝西保育園 平川 沙奈   | 私自身が部落差別問題と出会い、向き合い、人とつながる中で感じてきたこと、またそこから見えてきたもの、気付いたことを話します。  |
| 14  |        | 理科室     | (4)-③ | 自己肯定感を高めるための「声かけ」「環境づくり」<br>～一人一人の児童が安心してできる教室を目指して～ | 大宝小学校 建林 里歌子           | 滋人教栗東研究会 四方 晶子    | 人権擁護課 雪竹 義和             | 大宝小学校 瀧本 翔将    | 昨年度の学級では、「どうせ僕なんか」「自分にできるはずがない」といった自己否定的な言動が散見されたため、自己肯定感の向上を図るための支援を講じました。一連の取り組みを通じた児童の変容を中心に報告します。   |
| 15  |        | 5年3組 教室 | (4)-① | 全ての人に、寄り添うために<br>～チーム担任の一員としてできること～                  | 大宝東小学校 服部 憲汰           | 葉山小学校 高田 祐子       | 治田西小学校 野瀬 めぐみ           | 大宝東小学校 梅原 悠貴   | 昨年度、学校の新システムとして「チーム担任制」が導入されました。どの子ども「学校は安心できる場所だ」と実感できるよう、チームの一員として自分にできることは何か。取り組んだ実践と、その成果を報告します。  |
| 16  |        | 6年1組 教室 | (4)-③ | 安心して学校生活を送るための仲間づくり<br>～「友だちがいるから私は大丈夫」と言えるA児を目指して～  | 大宝西小学校 和田 純弥           | 治田東小学校 五藤 章       | 大宝小学校 松濱 秀幸             | 大宝西小学校 奥野 博也   | 入学してすぐの1年生が抱えている不安を少しでも解消することができるように、「なかよしタイム」という取り組みを実践しました。A児の気持ちの変化などを通して、自分の感じた仲間づくりの大切さや難しさを報告します。                                       |
| 17  |        | 1階 多目的室 | (3)   | お金の話のその先に<br>～銀行の取組、子どもたちにできること～                     | 株式会社 関西みらい銀行 栗東支店 平垣 学 | 滋賀日野自動車 株式会社 八木 修 | 社会福祉法人 栗東市社会福祉協議会 本間 由樹 | 商工観光労政課 相井 絵美子 | 銀行はお金を扱う場所です。だからこそ地域の変化やつながりを感じる事が多くあります。そんな銀行の気付きや取り組んでいること、未来をプラスにする活動について報告いたします。  |
| 18  |        | 6年3組 教室 | (4)-③ | つながりの中で育つ仲間づくり                                       | 栗東西中学校 山崎 勝大           | 葉山中学校 高橋 利彰       | 栗東中学校 伊賀 りつ子            | 栗東西中学校 村田 瑠菜   | 生徒Aとのかかわりを通じて、自身のあり方を振り返るきっかけとなりました。Aの変容とともに、生まれていく周りとの「つながり」。そしてその姿から見つめなおす自分自身の思いの変化について報告します。  |

(1)進路保障(校園所・企業・地域等の役割)

研究課題: (3)人権問題に関する学習・啓発(家庭・職場・地域・子ども会・社会教育関係団体等・校園所での実践)

(2)人権尊重のまちづくり ①部落差別問題の今日的課題と解決において ②ともに生きるまちづくり

(4)人権確立をめざす保育・教育の創造 ①ともに生きる校園所づくり ②保育・授業の創造 ③子どもの人権・仲間づくり